

**平成 30 年度草の根・人間の安全保障無償資金協力  
「脆弱な高齢者のためのデイケアセンター改修計画」供与式の実施**

令和 3 年 2 月 26 日、草の根・人間の安全保障無償資金協力「脆弱な高齢者のためのデイケアセンター改修計画」(贈与限度額:21,634 米ドル (2,379,740 円))の供与式が、ギュムリ市の高齢者のためのデイケアセンターにおいて行われました。本式典には、山田淳在アルメニア日本国大使、ハイク・サルタニャン・ギュムリ副市長、レヴォン・アナニャン・シラク州知事顧問、被供与団体である NGO「アルメニアン・カリタス」よりガギク・タラシャン代表の他、同施設のスタッフ及び利用者等が多数参加しました。

本計画は、ギュムリ市及びタシル市にある高齢者のためのデイケアセンターを改修し、高齢者支援機材を整備するもので、本件により、同センターで提供する健康サービスの質が向上しました。

式典冒頭、タラシャン代表は、同団体に対する信頼の下、日本政府及び在アルメニア日本国大使館からの支援を得て、本件が成功裏に完了したことに謝意を表明しました。

これに対し、山田大使は、本件により同センターの衛生と安全性が改善されたことは喜ばしく、草の根レベルで人々の健康増進や安全性の向上を図る本件の取組は、日本政府が推進する「人間の安全保障」の概念に合致しているものであると述べました。

また、サルタニャン副市長は、全ての関係者に謝意を述べ、ギュムリ市において、今後も同様のプロジェクトを継続的に実施していきたいとの希望と意欲を述べました。

式典の最後に、同施設の利用者から、山田大使及び日本政府に対し、今回の支援に対する謝意が表明されました。



ODAプレートを披露する山田大使と  
タラシヤン「アルメニアン・カリタス」代表



祝辞を述べる山田大使



祝辞を述べるアナニヤン・  
シラク州知事顧問



謝辞を述べるマルティロシヤン  
「アルメニアン・カリタス」プログラム長



施設の利用者から謝意を伝達される  
山田大使



改修した施設の様子



施設の改修作業の様子を撮影した写真



本件により整備された機材